山の音楽舎

まわるんシアター

とんだトロップ

原作／小野かおる（福音館書店刊）
演出・音楽・美術／宇佐美陽一
人形製作／山方ミユキ
出演　原田正俊　川中美樹

"夢見る力"を　こどもたちに！

ゆったりとした語りと素朴なうた、それに＜まわるん＞の名の通り、まぁるい円形の台をまわしながら、あたたかい人形と一緒にお話が　すすんでいきます。
躍動感あふれるおはなしを、　じっくりお楽しみください。

北の国のちいさな村に、トロップという男の子が住んでいました。その村では毎年お祭りで、とびあがり競争が催されます。トロップも一生懸命ジャンプの練習をしますが、なかなか高く飛べません。ある日、それをみていた森に住む大男のまほうつかいが、そっとジャンプのこつを教えてくれて・・・

【アンケートより】

30分という時間がうそのように、ゆったり満足できた時間でした。こどもにウケるようにとか、飽きないようにとか…そんな思いの全く無いこの作品は、大人でさえも、お話に身をゆだね、心地よかったです。
最後のクライマックスでの子どもたちの＜あんぐりあいたロ＞！心配だったり、？？？だったり、またこの間が!!トロップが戻ってきたときの観客の笑顔が最高でした。夢に向かって頑張っているときに「ガラタック」が現れたらどんなにすてきでしょう。子どもたちを見守りながら応援する大人が、周りに一人でもいたら、どんなに豊かな子ども時代になるでしょう。原作の力、編みぐるみの立ち人形の温かさ、素朴でありながら＜回る＞という驚きの舞台、そして音楽のやさしさ。どうかどうか、この作品が多くの小さな人たちに届きますように。

作品詳細はこちら↑